

# 平成25年12月議会

## 避難所建設で飛島企業に恩恵はあるのか

避難所の建設が始まろうとしています。

当初の計画から大幅に減額されたとは言え、大金を投入して行われる避難所建設工事です。

過去においてこのような大きな工事に飛島の企業が参画することはきわめて少なく、大半が大手ゼネコンにより建設されてきました。

飛島の税金が村民に還元されず村外に流出しているのを快く思っていない村民は決して少なくありません。

飛島の公共事業に少しでも多くの村内業者が参加出来るように入札方法や要項を検討すべきではないかと考えます。

特に今回の避難所建設は何処がするかは村民にとって大きな関心事です。

終わってみたら飛島には何も無かったと言われたいないようにお願いします。

答弁者 村長

### 定められた要領等に基づき発注する

地方公共団体における調達には、その財源が税金によって賄われるものであり、より良いもの、より安いものを調達しなければなりません。

そのため、地方公共団体が発注を行う場合には、不特定多数の参加者を募る方法である一般競争入札が原則とされています。

更には、地域活性化の観点から、地元企業が受注し地域経済に貢献することも求められており、この点も踏まえ調達がなされる必要があります。

以上の内容を踏まえ、本村の請負業者等格付要領及び請負業者等選定要領に従って、指名競争入札または一般競争入札を実施しています。

なお、一般競争入札は実施要領に基づき、1件につき設計金額が5千万円以上の建設工事を対象に実施しています。

一般競争入札の方法としては、単体による入札と特定企業体による入札がありますが、本村は特定企業体による対象工事は一般建築工事で5億円以上となります。

計画の避難所建設については、定められた要領等に基づいた発注を考えています。

## 村民が利用しやすいバスの運行に

公共交通機関の利用目的は利用者の利便性を考え通勤通学、買い物、通院、金融機関、公共施設等への足の確保です。

現在、通勤のために名古屋港から木場の工業地域へ6台のバスで運行されています。そのうちの何台かを蟹江からの便に切り替えて、三福・梅之郷や大宝の中央道を通せば飛島の空白地帯を埋めることにもなります。

また、私はコミュニティバスに乗ろうとしましたが、役場以外に行きたい目的地が無いのです。せめて、コミュニティバスがAコープや郵便局に止まればお年寄りのためにもなります。

中央道を利用して蟹江のピアゴあたりにもバス停を設ければさらに利便性が増すと思います。

是非検討願います。

**答弁者 村長**

### **要望経路の運行はむずかしい**

現在、地下鉄の名古屋港と本村の臨海部を結ぶ名港線については、大型バス6台を使用している運行ですが、特に名古屋港から本村へ向かう朝の通勤時間帯の6便は、多くの方にご利用いただいている状況です。

この名港線の大型バスの一部を、蟹江線に使用し、村内の交通空白地帯を経由する運行をとのことですが、現在の名港線の利用者の状況、また、大型バスの形態からご質問の経路、運行は、難しいと考えています。

コミュニティバスは、村内の交通空白地帯をカバーするために、蟹江線で使用している3台内の小型バス1台を使用し、昼間時の午前9時から午後5時までの間で運行をしています。この運行経路については、検討委員会を設置し検討を重ね、当初は、ご質問をいただいているような、村内を巡回する運行経路としていましたが、ご利用が少なかったことから、再度検討委員会で検討を重ね、現在は、役場から、村内の東西を経由し近鉄蟹江駅を結ぶ運行経路としています。この小型バス1台の運行では、経路及び便数等に制限もあることから、議員ご質問の各施設等へ停車し、多くの方にご利用いただくことは難しいと考えています。

### **飛島のホームページを使いやすく**

エコプラザの利用できる曜日と時間を調べようとしたら環境や施設からでは探せず非常に時間がかかりました。

放射線量を調べようとしたが、通常的环境からは探せず、トピックスからしか入れなかった。

その他、検索すると探せるが、順序だって探すと探せない事も多くあり、新しいことが階層の中に組み入れられていないようだ。

一度内容を精査し、階層を整理する必要があるのではと思います。

また、調べている時に表示されているデータが古いことに気がつきました。

定期的にデータが更新されていないようだ。

いずれにしろ、使いやすく分かりやすいホームページにさせていただくよう要望します。

**答弁者 村長**

### **情報提供を重視して利用しやすいものにする**

本村のホームページは、トップページを起点として3階層から5階層程度までの構成としていますので、ご覧いただく方の求められる内容も様々であることから、見にくい・見当たらない、見るまでに時間がかかることもあるかと思いますが、ご質問をいただいている内容は、ご覧いただけるようになってきていると思います。平成14度の開設当初は、本村の紹介を主とした内容となっていました。以後、18年度に全面リニューアル、21年度にトップページのリニューアルを行い、村民の皆様にも利用しやすいように更新をしてきましたが、23年度には本村が支援した村内全域の光ケーブルの基盤整備が完了し、以後、多数のご家庭等でインターネットが接続されたと聞いています。

今後はさらに、村民への情報提供を重視し、利用しやすい、生活に役立てていただけるようなホームページの構築に努めていきたいと考えています。